

重要度のレベル区分

街路樹の重要度による路線のレベル区分

レベル	内容	説明		
A	旭川を代表するシンボル路線	旭川市民全体の財産として認識され、観光や余暇等に利用している路線	シンボル路線 (景観重要)	街路樹が特に重要な路線
B	地区を代表するシンボル路線	地区(中央地区等の範囲を想定)、地域(観光地・商業地等の範囲を想定)として、住民の憩いのみどり等と認識され、利用している路線。		
C	機能として重要な道路緑化上の基幹路線	A, Bに含まれないが、緑のネットワーク及び緑の回廊などの緑の連続性に重要な路線や、生活環境の保全、景観形成、交通安全の確保など機能上、重要な路線	道路緑化上の基幹路線	
D	通常の路線	道路緑化指針により、街路樹の植栽に問題がなく、街路樹を維持していく路線	通常の路線	
E	将来的に街路樹をなくしていくべき路線	歩道幅員が狭いなど、道路緑化指針により街路樹の植栽に適さないため、将来的に街路樹をなくしていくべき路線	将来的に なくす路線	
F	将来的に街路樹を植栽すべき路線	現状は街路樹が植栽されていないが、機能として重要であると考えられるため、将来的に街路樹を植栽していくべき路線	将来的に 植える路線	
Z	要検討路線	機能として重要だが、街路樹の植栽に適さない道路形状の路線など、何かしらの問題があり、重要度のランクを評価できない路線	要検討 路線	

A, B をシンボル路線と設定し、特に景観に配慮し、連続し整った樹形の街路樹になるよう、枯損木の補植や整枝剪定、緑量の確保などに努めるものとします。

Z の要検討路線は、機能面からは植栽するべきであるが、現状の道路形状では問題がある路線など、一律では評価できないものを上げていますが、状況の精査に伴い、いずれは A～F のランクに組み入れていくものとなります。